# はくがんさん

第 108 号 2019 年正月号
伊豆市　法住寺 発行

## 謹賀新年

## 歳

台風の塩害で茶色くなった葉もあるが、11 月末からモミジが急に色づき、山門から石段を登りながらの景色、本堂裏や墓地周辺の景色と、ずいぶん良くなってきた。

＊

母が健在の頃から毎年数十本のモミジ等を植え続けていて、それが育つのを楽しんでいた。母の妹・叔母は時々訪ねてきて一緒に紅葉を楽しみ、話の相手をしてくれていた。「このあいだスイスの登山列車に乗って来た、孫と一緒に」、そんな会話や姿が目に浮かんでくる。

山門より本堂への紅葉

叔母は大きな百姓家に嫁ぎ4人の子供を育てあげた。朝から晩までよく働いたが、何時も明るい笑顔で美しかった。連れ合いの叔父が倒れ介護が始まったのは 70 歳近かった。当時は今のような介護制度はなく大変だったと思う。10 年近くよく介護し、叔父の最期を看取った時は 80 歳近くなっていた。それから海外旅行が始まったのだった。

その叔母が昨年モミジのきれいな季節に亡くなった。弔辞で、旅行を共にした孫が「何時もツアーで、最高齢者と最年少者と紹介されたね」と温かい言葉を贈った。

その孫も既に2人の子供の父親である。

式場は三島聖苑であった。市街地を通り住宅街を登った山の中腹にあり、車でなければ行けないような所にある。葬儀には母の弟・叔父が参列した。この朝、東京から電車を乗り継ぎ一人で来た。それも近くまでバスに乗って、バス停から坂を登って歩いて来たという。思ってもみないことに驚き、感動した。「叔父さん　幾つになった？」、「93 歳」。はやくに連れ合いの叔母を亡くし、娘は近くにいるが広い屋敷に独り暮らし、3食自分で賄っているという。背筋はピンとして大したものである。

＊

今年、私は年男。6回目ともなると気負いはなく、それに猪は今や害獣、お寺の近辺も荒らされている。それでも今年の干支に敬意を払うも猪突猛進などはるか昔のこと、お猪口(ちょこ)でお屠蘇(とそ)、程度である。あるがままに日々すごそうと思っているが、年の初めに「歳」という観念にとらわれすぎないようにと想う。高齢になっても様々な楽しみ方生き方があり、若くても様々な苦労や生き方があることを想う。

**［ 寿量の祈り　敬意と感謝 ］**

大自然　ありがとうございます。　合掌
社会の皆さん　ありがとうございます。　合掌
ご先祖さま、家族の皆さん
ありがとうございます。　合掌

# 謹賀新年

## 法住寺護持会

［総代、護持会長］伊東 修
［総代、副会長］ 小塚健治
［総代］ 森野道雄
［顧問］ 山下 一
［世話人］ 伊東 徹、三田信子、伊東幸二、室野千肥路、小塚秀夫、山下壮一、小塚健治、佐藤 諭、飯田幸雄
［監査］ 土屋正次、佐藤 薫

## 中伊豆立正大題目講（当山）

［副会長］ 伊東ミナヨ
［顧問］ 小塚 勝、山下 一
［世話人］山下 要、井本まつ、伊東貞子、伊東すゑ子、三田五月、伊東はつ江、伊東ちゑ子、伊東通子、三田信子渡辺直子、山下 清、小塚正司、小塚康清、山本宏衛、森野はま江、山下英子、林やす子、小塚千恵子、小塚みよ子佐藤雄一、佐藤賢吾、佐藤秀夫、杉山松子

## 伊豆連合大題目講（当山）

［会長、理事］ 山下 要

# お寺の庭に花いっぱい

昌子寺庭の山務日誌より

## ゆるやかな家族

以前法事にみえた若い看護士さんは東京の介護施設にお勤めしていて、主にデイサービスの仕事をしているとの事だったが、私が驚いたのは次のことばだった。「今のお年寄りはスマホ持ってデイサービスにみえますよ」、「へェ～ッ」。まさに「高齢者の孤独の痛みを和らげてくれるデジタル」ということか。このことはなぜか私の心に残った。

さて確かに子供も独立し、気付けば自分自身が高齢者となった。なったらなったで、今まで何かしら追われていた自分から少し卒業して歩んでみたくなる。お寺の仕事は「待ったなし!!」でいろいろ目の前の仕事はするが、気持ち的には日常を穏やかに慈しむような心持ちにあこがれる。けれど私なりに足も腰も弱ってきて、痛みやしびれに悩まされる日も多くなってきた。どうしたってこれからは自分自身と向き合うことになる。

穏やかに日常を慈しむことができる日もあれば時に小さな孤独に気持ちも沈む日もあるだろう。これからの揺れる自分とどう向き合えるかが、大げさに言えばおとし処だろう。なにしろ人生100年といわれる時代になってしまったのだから。そんなことを想いつつボ～ッとしていたが、ふと気付いた事がある。

今日もお掃除、ひと休み

最近、お寺のいろいろな会や行事やお講で、各々の輪が広がってお題目をベースに仲間のご縁を育てられて、まるで「ゆるやかな家族」の様にみえることがある。嬉しいことだ。ちょっとした声掛けや、そのひと言が相手を元気付けたり、慰めたりしているのをみかける。

いいなぁと思う。

＊

人は弱いものだが、わかちあって理解してくれる人があれば、何とかがんばれると思う。

今年も様々な方々に出会い学ばせてもら

いながら、前に進んでいきたいと思う。
本年も宜しくお願い申し上げます。

## 伊豆連合大題目

11月10日、伊豆連合大題目が当山で行われました。

温かな晴天に恵まれ、加殿妙國寺、長岡宗徳寺、最明寺、そして当山檀信徒の皆さんが約百名参加、まず山下要会長からお題目をお唱えすることの有難さ豊かさが伝わる挨拶がありました。来賓の安藝栄修東部宗務所長から日蓮聖人ご聖誕八百年に関連した挨拶、また伊東修護持会長が歓迎の気持ちを表し挨拶しました。その後、読経、お題目、田方地域の檀信徒が声を一つにしてお唱えするお題目は、何とも清々しく気持ちの善いものでした。

清々しいお題目でした

休憩の後は加殿妙國寺植木和久上人の法話、普段の生活の中からの話に、笑いながら感謝や笑顔の功徳にうなずくのでした。

## 境内整備作業

年末の作業は西地区皆さんのご奉仕でした。鉄塔山や第一墓地上の孟宗竹伐採、側溝落葉取り、植樹支え用竹の伐採等を作業してもらいました。

作業を終わってお茶のひと時

次の3月の境内作業は元村2、3班で第2墓地斜面へのサルスベリ植樹をお願いする予定です。

高齢化や山の仕事に慣れなくなってきていますが、若い方の参加も増えています。やれることを役員さんと相談しながらやっていきたいと思っています。

今後とも宜しくお願い致します。

## 年末大掃除

12月20日、檀信徒有志の方々が大掃除に集まってくれました。

本堂の床ワックスがけ、障子の桟、窓ふき等、普段手の届かないところまで掃除、昼食に新ソバ打を打って下さる方があり舌つづみ。初対面の方もあったのですが、皆さん打ち解けてゆるやか家族の様でした。

## 役員改選

平成28年4月からお勤め頂いた護持会役員・世話人の任期が3月までとなりました。現役員さんを中心に各地区で選出をお願いします。

お寺の活動には長い歴史や伝統があり内容も様々ありますので、2期はお勤め頂き活動を繋げていって欲しいとお願いしています。皆さまのご協力、宜しくお願い致します。

## 新春開運 星祭

**1月27日(日)午後2時**

今年の悪い運気を払い、善き運気をご祈願します。詳しくは別紙案内をご覧いただき、お申込みお願いします。わからないこと等ありましたらお電話下さい。

# 洋明さんのおはなし

## 八方塞　～皆に愛される王様～

明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

私は相談事で方位などを見る際、一つの手法として九星気学というものを使う事があります。年初めに皆さんが気にする星廻りや運勢は、この九星気学に基づいています。ちなみに実際に星廻りが変わるのは元旦ではなく、二月の立春からです。

＊

さて新春星祭祈祷会の案内に今年の星廻りを載せてあります。その中に八方塞（はっぽうふさがり）という星廻りがあります。字の如く㊀北・㊁北東・㊂東・㊃南東・㊄南・㊅南西・㊆西・㊇北西の八方を他の八つの星に塞がれてしまう星廻りです。この八方塞は厄ではありません。じつは「我が強くなりやすい星廻り」なのです。

八方塞は、八方の中心の宮、最も力の増す王様の位置に座します。そうすると運気や力が増すので、何でも出来る、自分の意見は正しいと自己中心になりがちです。「～なのは当たり前だ」と感謝の気持ちが薄れやすくなり、周囲のアドバイスや意見に耳を貸さずに自分本位に行動し、結果本当に何もできなくなってしまう、これが真の八方塞。

＊

では八方塞の星廻りの心構えはどうすれば良いか。自分はこうだと思っても㊀とりあえずは我慢㊁すぐには動かず、しっかり準備を整える㊂何か周囲に言われても、「いやいや違う、そうではない」ではなく、「そうだね」と皆の話に耳を傾ける。つまりは皆に愛される王様になることが一番。すると八方の星が「この王様なら皆で守ろう」と王様を大切にして助けてくれます。実際に、八方塞の年の「我慢」は翌年の飛躍となり、必ず周囲の方が変化（へんげ）の人となり協力し助けてくれます。

実は私も2回目の荒行の際に、その事を体験しました。その年、私は八方塞でした。行中にはある事をまとめる役をまかされました。そこで自分は「こうだ」と思ってもまずは我慢、そして「そうだね」と同行僧の意見に耳を傾けることを心掛けました。すると、不思議なものです。絶対に上手くいかない、どうにもならないと思うたびに、必ず周囲の同行僧に助けられるのです。今考えると「こうだ」の自分を突き通していたらどうなっていたことか。

＊

さて今年の皆さんの星廻りや運勢はどうでしょうか？どうぞそこで一喜一憂しないで下さい。なぜなら、どんな星廻りや運勢でも、お題目をお唱えする皆さんには仏天が守護して下さる。皆さんのいつもの笑顔と元気にはすごいエネルギーがあるのです。

1月27日の新春星祭祈祷会では仏天に日々の感謝を申し上げ、一年のご守護と安穏・笑顔・元気沢山を一緒に祈りましょう。

### 御志納金［十一月～十二月］

伊東市　小塚比呂志殿　尊父葬儀砌
伊豆市　河野とみ子殿　夫君葬儀砌
伊東市　徳本知津子殿　永代供養砌
伊豆市　北井　幸子殿　永代供養砌
伊豆市　柳丸　初　殿　永代供養砌

**お寺のホームページ**
http://juryo.jp/
検索［伊豆　法住寺］